



セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナの行政官

日本の経験から学ぶ災害対応能力向上の取り組み

国際協力機構(JICA)は、建設技研インターナショナル、パスコの協力を得て、セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナの行政官を対象とした「災害危機管理能力向上」研修を2月2日から2月22日の日程で実施中です。

2014年5月12日から14日にかけてセルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア一帯で集中豪雨による河川の氾濫や地すべりが発生し、多くの市民が避難を余儀なくされました。観測史上、記録的降雨量と言われ、セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ政府が非常事態宣言を発令する事態に発展しました。また近年は洪水被害や頻発する地震への対応の必要性も認識されており、両国において、災害発生後の緊急対応力の向上が求められています。本研修では、災害時の組織間連携や迅速かつ効果的な対応、地域・住民レベルの自主防災活動等について日本の事例や手法を学び、両国の防災活動の向上を目指します。

2月13日からの2日間は、阪神・淡路大震災の教訓から、神戸市の住民による自主防災組織の取り組み、震災の記憶の継承、被災地支援などについて学びます。

日本の防災について熱心に学ぶ研修員への取材を是非ご検討ください。研修員へのインタビューの際には、日本語⇄セルビア、クロアチア語への通訳アレンジも可能です。

取材可能な日程	
2月13日(木)	10:00-12:00 講義「兵庫県の進める防災教育及び被災地支援について」 ：兵庫県教育委員会（場所：JICA 関西） 14:30-16:30 見学「人と防災未来センター」（場所：人と防災未来センター）
2月14日(金)	10:00-12:00 講義「防災福祉コミュニティ」：神戸市消防局 (場所：JICA 関西)

【研修員：2か国11名】セルビア5名、ボスニア・ヘルツェゴビナ6名

※取材いただける場合は、2月12日(水)の午後4時まで下記まで、ご連絡ください。

【問い合わせ先】	JICA 関西 業務第一課 魚津 瑞穂 TEL 078-261-0341 Email : Uotsu.Mizuho@jica.go.jp
----------	---